

大村市政だより

■昭和33年4月22日第三種郵便物認可 ■毎月3回1日・10日・20日発行 ■定価1部5円
■発行所 大村市役所 ■編集人 総務課長 菊池綱昌 ■印刷所 大村活版所

実弾射撃

陸上自衛隊では、1月中の実弾射撃をつぎのとおり行ないません。

実施場所 — 池田射撃場

実施日程 — 16日～20日、22日～27日、29日～31日



ことしを反省し 新しい大村を……

ことし最後の市政だよりを市民みなさんの手許におとどけいたします。ここで、ことし昭和42年のあいだに、大村市が行なった行事や仕事のおもなものを、この写真特集号で紹介いたします。

とくに、ことしは昭和17年、大村市が市制を施行してから25周年目にあたるめでたい年でありました。

これを記念しての市民会館もできあがり、いろいろの記念行事も行なわれました。この外、10万都市の建設、産業発展の基礎である交通網の計画や実施にも力をそいできました。しかし、まだまだしなければならぬことがたくさんあります。

ここで、市民お互いが協力して作りあげつつある大村市を反省し、希望ある大村の未来を夢み、より建設的な昭和43年を迎えたいものです。

このごろの十二月は、むかしのように、年の瀬といったしみじみした感じが少なくなくなったようです。しかし、消費生活の時代といわれ、年末、年始の贈物などはだんだんはでになるようです。贈物は日ごろお世話になっている人や親しい友人への贈物で、心をこめたものといえましょう。

▼職場の職員間の贈答はひかえめに

▼家庭間の贈物もありはでにならないように

▼年始まわりはできるだけ少なくし、家庭中心の明るい新年にしましょう。

ことしの 市政だよりから

(1月)

▷三鈴橋、永久橋にかけかえ

(2月)

- ▷東浦漁港に防波堤完成
- ▷長崎国体強化訓練始まる
- ▷市制施行25周年を迎える
- ▷国体実行委員会発足

(3月)

▷黒門、くしまぎくら、大まきの木県文化財に指定さる

(4月)

- ▷競艇場防波堤完成
- ▷県議会議員選挙執行
- ▷市議会議員選挙執行
- ▷市営アパートできる

(5月)

- ▷土地用途地域を発表
- ▷市内子供大会開く

(6月)

▷消防車「損保号」とどく

(7月)

▷久良原橋できる

(9月)

▷小中学生夏休み作品展開く

(10月)

▷消防団ポンプ操法大会開く

▷市民美術展を開催

▷市民球技大会開く

(11月)

▷国体花いっぱい運動で池内淳子さん来大

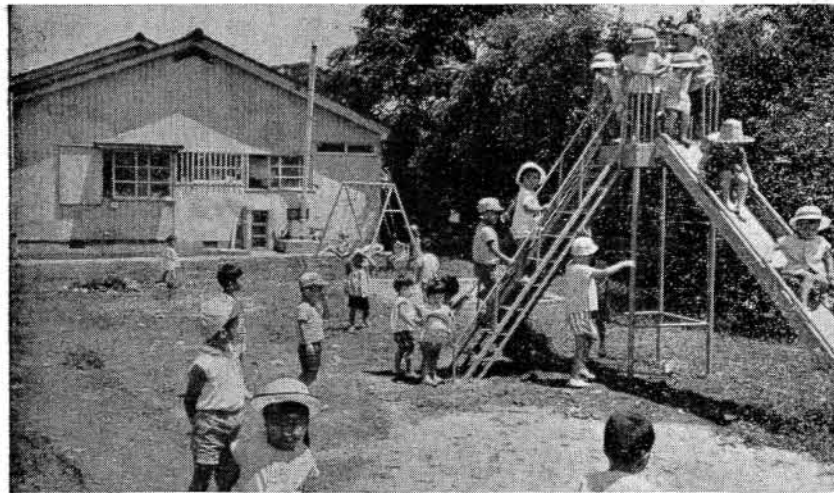
▷国体市民運動委員を725名に委嘱

▷子供会壁画大会開く

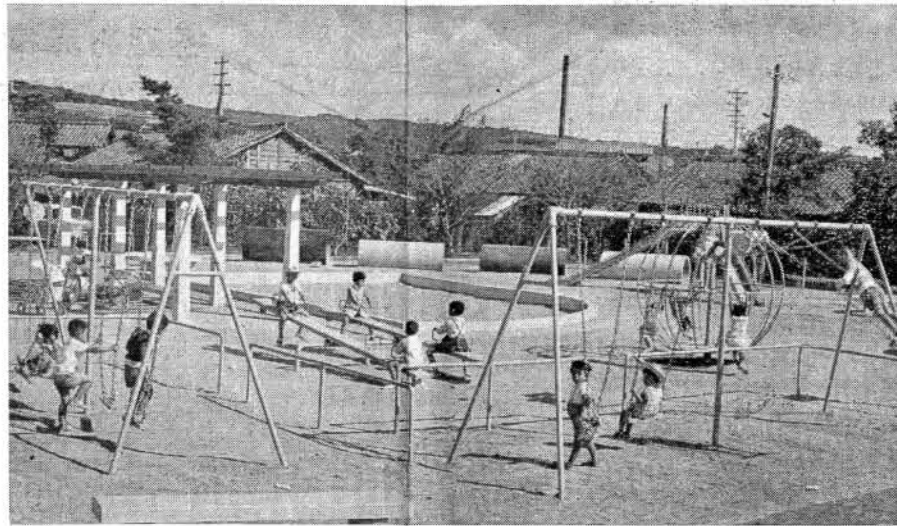
(12月)

▷県美術展大村市で開催さる

ことしの暮



▲ 竹松に市立保育所を新設(7月)



▲ ぼくらの遊園地だ... 諏訪に都市計画児童公園できる(10月)



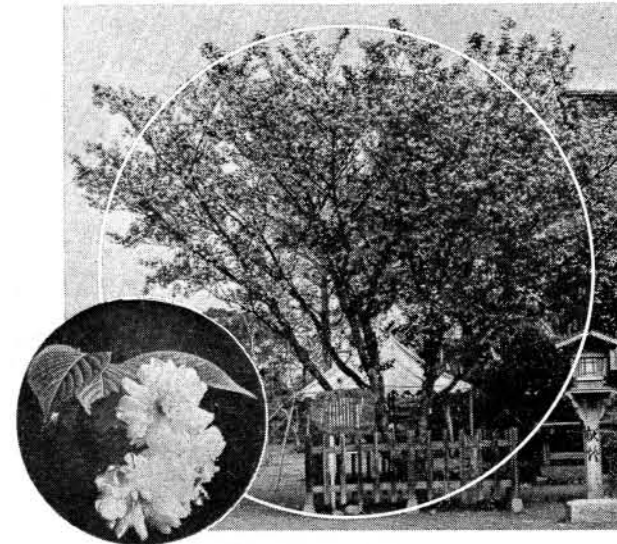
▲ 市民会館落成(5月)



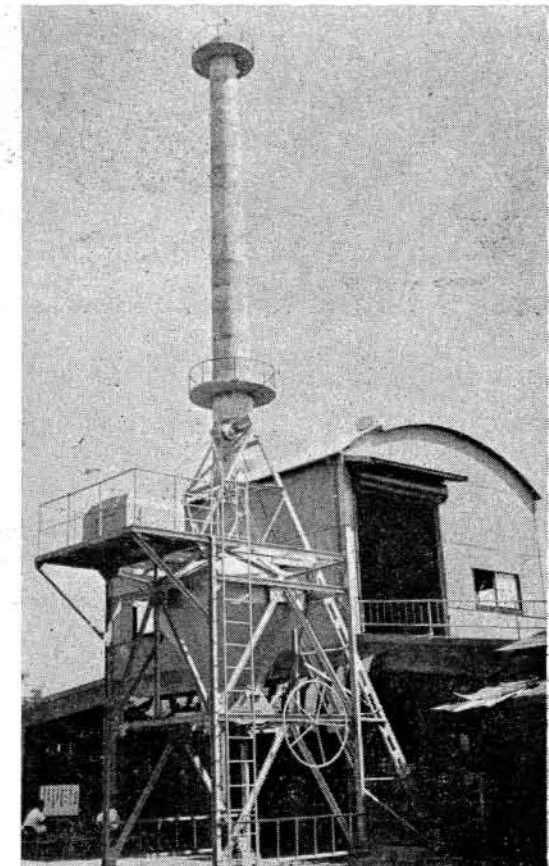
▲ 長崎国体開会式のマスゲーム
(幼稚園の部—大村市担当)の発表会(10月)



▲ 玖島交差点に陸橋完成(10月)



▲ "おおむらざくら"
国の文化財に指定される(7月)



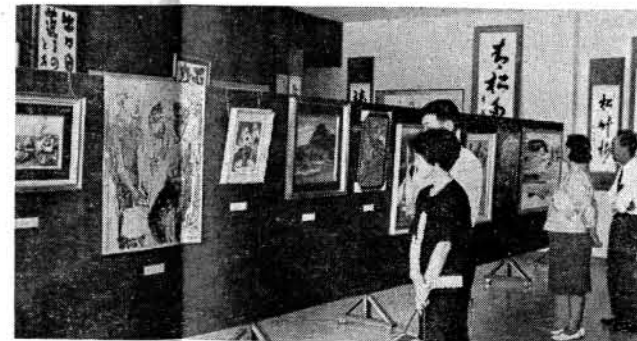
▲ 新しい焼却炉完成(8月)



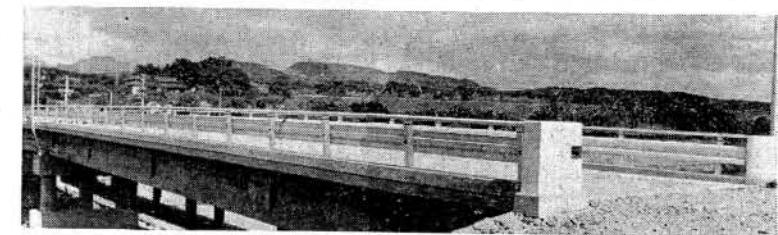
▲ 玖島中学校の
2期工事起工式(9月)



▲ たのしいみんなの
市民音楽祭(12月)



▲ みごとな作品ぞろいの市民美術展(9月)



▲ 鬼橋りつぱに完成(11月)

年末、年始の仕事をあんない

▽ 仕事おさめ12月28日
 ▽ 仕事はじめ1月4日

市役所は、年末の十二

月二十八日から、年始の一月四日まで休みとなり、税金、汚物手数料、住宅使用料など市役所に納入しなければならぬものや、また市役所からの受け取り金などは早め、すませてください。

転出、転入の事務や、

諸証明の事務は行ないませんが、出生、死亡の届出は宿日当で受け付けます。

ごみの収集は三十日まで、またし尿の汲取りは

早めに清掃業者に連絡しないと年内の汲取りができない場合があります。

年始のごみの収集は四日から、し尿の汲取りは五日から行ないます。

12月30日午前中診療
 1月2日午前中診療
 急患の場合はいつでも診療いたします。

水道料金の納入は十二月三十一日まで水道部の窓口で行ないます。また水道管の破裂の水もれ修理も受け付けます。

発生していることがわかります。

なぜ冬に赤痢の発生が多いのでしょうか？それは、赤痢菌が低温に対して非常に強いとか、私たちの生活様式の変化に原因があるとかいろいろ考えられますが、日常生活の中で、冬は伝染病は発生しないものだ……と

冬でも赤痢は多い

＝つめたくても必ず手洗いを＝

十五名、その他をあわせ

今年に入ってから赤痢の集団発生が相次ぎ、十二月二日までに市内で集団発生患者が百二十

と百五十名にもなりました。最近の赤痢は四季の別なく発生しており、常に十分な予防の心掛けが必要だと考えられます。とくにここ数年來の市内の発生状況を見ると、十二月から三月までの、いわゆる冬の間に年間の約五十パーセントが集中的に

いう安易な考え方で手洗いや消毒がおろそかにされているとすれば大変なことです。

国体開催もまじかにせ

まり大村にも全国から多勢のお客さんが来られるのに、赤痢のまち大村では困りますし、私たちの健康を守るため、日常の伝染病の予防と清潔な生活環境づくりをみんな

で真剣に考えようではありませんか。

つぎのことは必ず実行してください。

① 赤痢の知識を十分に

② 手先をきれいに、タオルは各人別に

③ 十分な手洗いを

④ 生水、生物をたべるときは十分な注意を

⑤ 熱がでて、下痢したときは早く医師の診療を

⑥ 食物の保管場所に、ネズミ、ゴキブリがいな

⑦ 炊事場、食堂、下水溝

便所の消毒を十分に

車の片側通行止

原口停留所から大村空港までの市道五百九十四メートルを舗装する工事のため、つぎのとおり片側通行止を行なっています。

期間 昭和四十三年三月二十七日まで

火災予防の歳末警戒

十二月もおしまつて寒さもきびしくなり、火を使わうことが大変多くなってきました。とくに火の不始末による火災が

ふえます。一般家庭で使わう火だけでなく、養豚養鶏などの暖房用の電気の火気にも十分気をつけましょう。

消防署では十二月二十八日から三十一日まで火災予防のため歳末警戒を行ないます。この期間午後八時にはサイレンを鳴らしますので火の用心にご協力ください。

生活保護費繰上支給

昭和四十三年一月分の生活保護費を十二月二十六日に繰上支給します。

市民手帳

日曜祭日当番医 (昭和43年1月)

- 1日 海浜内科 後藤産婦人科 原内科
- 2日 南野内科 福田産婦人科 渡辺内科
- 3日 中央産婦人科 田中内科(乾馬場) 田川小児科
- 7日 中村内科 朝長産婦人科 橋口内科 岩崎眼科
- 14日 近藤内科 松永内科 毛利内科 海江田耳鼻咽喉科
- 21日 寺井内科 野口内科 楠木眼科 田中内科 (竹松)
- 28日 東内科 中島外科 長崎内科 貞松整形外科